

統計研修講義計画書

研修課程	マイクロデータ分析 (R による統計解析)	講義科目	標本抽出法と標本誤差の評価	講義時間	6 コマ
講師	古田 裕繁 元 UNSIAP 講師				

※ 1 コマ 70 分

講義のねらい

現在利用できるマイクロデータは、標本調査のマイクロデータが多い。R を用いたシミュレーションで、標本マイクロデータからの母集団推計値は、標本誤差を持つことを認識させ、適切に標本誤差 (SE) を評価する方法を学ばせる。

指導項目と内容

指導項目	内 容
1 標本理論の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ● ミクロデータの生成メカニズム ● 標本抽出の方法 (例、層化 2 段抽出による世帯調査) ● ウェイトを用いた母集団平均の推定法
2 標本誤差 (SE) の評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 理論的に求める方法 ● 経験的に求める方法 (シミュレーション) ● その他
3 survey パッケージの利用	<ul style="list-style-type: none"> ● 加重平均を求める 1 つのツール ● surveydesign の設定 ● その他

講義形態 指導方法	パワーポイントを用いた講義と討議 PC による実習
受講に必要な 基礎知識等	統計調査の経験と標本調査法の基礎知識 (標本調査法の理論面は別途学習されることが望ましい。)